

## キャンパス探訪〈6〉総合体育館レリーフ等



相馬(右)、森口(左)両氏のレリーフ

ク大会での表彰台のひとつなのである。

もう一つ紹介しよう。偏額「飛天」は書家・飯島春敬の揮毫で、専修大学の飛躍を願った。

ホール左手のスペースには、スポーツ関係の、数々の栄光の賞牌が飾られているが、他にも書や刻字、校旗のデザイン作品なども飾られこれらもまた楽しい訪れを約束してくれる。

創立100年記念事業の一環として、1983年(昭58)1月、スポーツの殿堂「総合体育館」が生田に落成した。施設の充実さの説明は省く。

エントランスルームの作品群を見ていただきたい。正面に当時の相馬勝夫総長・森口忠造理事長の青銅胸像レリーフが掲げられている。校友会の寄贈で、制作は本間紀夫氏。その下に、何ともないような板の台が置かれている。実はこれ、長野冬季オリンピック

[12月15日/ニュース専修1面]